



目次

- ◆ブロックからのお知らせ 1
 - 第28回日本野鳥の会中部ブロック会議議事録 1
- ◆事務局からのお知らせなど 3
 - キャンペーン「バードウォッチングウィーク！季節の鳥をeBirdに投稿しよう」 3

- 日本鳥学会でeBird Japanについてのポスター発表を行いました。 4
- 連携団体(支部等)向け卸販売をご利用ください .. 4
- 会員数 5

◆ブロックからのお知らせ

■第28回日本野鳥の会中部ブロック会議議事録

- 第28回日本野鳥の会中部ブロック会議_2024年(担当: 諏訪支部)
 - ・開催日:2024年9月14・15日
 - ・会場:八子ヶ峰ホテル(長野県茅野市北山白樺湖3424)
 - ・参加支部:20団体(新潟、佐渡支部、富山、石川、福井県、長野支部、軽井沢支部、木曽支部、伊那谷支部、甲府支部、富士山麓支部、東富士、沼津支部、南富士支部、静岡支部、遠江、愛知県支部、岐阜、三重、諏訪支部)57名参加
 - ・財団参加者:3名(会長 上田、副理事長 狩野、普及室長代理 箱田)

【2024年9月14日】

- 開会挨拶
諏訪支部支部長 杉山直
日本野鳥の会会長 上田恵介
- 基調講演
隠す・食べる・運ぶ ——ホシガラスとマツ属の共生関係——
西 教生(都留文科大学非常勤講師・諏訪支部)

ホシガラスはマツ属の種子を主な食物にしています。しかし、種子を食べるだけではなく、貯食行動によってマツ属の種子を散布していることから、両者は共生関係にあるとされています。富士山と乗鞍岳実施した調査から明らかになった、ホシガラスとマツ属の共生関係を紹介しました。また、ハイマツ林が成立するようになった、環境要因についても触れました。

●協議・報告事項

1. 愛知県支部と共催で11月16日にチュウヒサミツ

ト2024を開催します。その告知と各地のチュウヒ繁殖状況をお聞きしたい。近藤義孝(三重)

2. 3月24日に開かれたサシバサミット in フィリピンへポスター発表で参加したのでその報告と各地のサシバ繁殖状況をお聞きしたい。笹間俊秋(三重)
 - 【新潟県】新潟県では5・6年前に全県調査を実施し、サシバの繁殖状況を把握している。サシバの繁殖環境は農地が多いため、農業従事者が減少すると生息状況が変わるかもしれない。
 - 【伊那谷支部】四日市市南部のメガソーラー建設では、環境アセスは実施されているか？
 - 【三重・笹間さん】小規模のため、環境アセスの対象外となっている。
 - 【福井県】環境アセスのヒアリングの経験から、ソーラーが完成するとサシバがいなくなるケースがある。事後調査をしっかりと、モニタリングが必要。環境アセスの審議員は、コンサルや事業者に事後調査実施の提案をすべき。
3. 塩ビパイプ巣箱の繁殖成績が悪い件。他支部でも同様な事例があれば、対処法について意見を伺いたい。鈴木正之(沼津支部)
 - 【諏訪支部・林さん】知人が設置した塩ビパイプの巣箱では、巣内にヒナが2羽が死んでいた。巣箱の内側に爪が引っかかる加工が必要かもしれない。また、巣箱の底から穴までの距離が長いと利用されないだろう。木製と違って塩ビは吸湿性がないので不安が残る。
 - 【石川】モウソウチクの巣箱は、回収後に割って中身を確認した後、屋根をつけてひもで縛って再利用するのはどうか？
 - 【沼津支部・鈴木さん】モウソウチクは簡単に手に入り、自然に分解する素材であるため、再利用はおこなっていない。
4. 日本野鳥の会第一号保護地区について。鈴木正之(沼津支部)
 - 【財団・狩野さん】保護区第一号の維持管理、お世話になっています。ありがとうございます。保護地区の

維持管理が大変ということで、財団として良い方向で検討していきたい。

5. 初心者探鳥会で会員が増えた報告。新實 豊（愛知県支部）

【財団・箱田さん】補足ですが、初心者探鳥会は会員ではない方を集客するのがポイント。財団では、一般の方に新聞等で告知して「おさんぼ鳥図鑑」を無料配布している。「おさんぼ鳥図鑑」に申し込まれる方は年間1~2万人で、財団では約10万人分のデータベースを管理しており、その方々に初心者向け探鳥会のご案内を出している。これにより、バードウォッチングに興味があり会員ではない方の集客を可能にしている。皆さんの支部の県にどのくらいの名簿があるのか、集客力の目安となるので、興味のある支部は名簿の数をお伝えするので声をかけていただきたい。

6. 新潟県の活動報告。桑原哲哉（新潟県）

○ホームページ再開設 ○初心者探鳥会 開始（年7回）○お試し会員 開始（10人程度）○探鳥会は雨天決行 ○探鳥会参加者と講師の名札作成 ○ガールズ探鳥会 開始（年2回）○入会リーフレットの作成 ○ラインオープンチャット開設 70人（会員の2割）参加

7. 新潟市が国内初のラムサール条約湿地自治体として認証される。岡田成弘（新潟県）

8. ツバメの感謝状についての報告。箱田敦只（財団本部）

2024年度のツバメの感謝状は、19支部から推薦をいただき、合計20都道府県、31団体に贈呈した。贈呈先には会長名の感謝状とステッカーをお渡しした。中部ブロックからは、石川推薦の「河内じばさん」「浅の川温泉湯楽」、岐阜推薦の「DNP 田村プラスチック株式会社 萩原工場」、三重推薦の「株式会社ぎゅーとらラブリー藤里店」「多気町立勢和中学校」、愛知県支部推薦の「中日本ハイウェイ・メンテナンス名古屋株式会社」「医療法人信愛会グループホーム秋桜の里」「特別養護老人ホーム一晃」「特別養護老人ホーム光楽苑」の9団体に贈呈した。

プレスリリースの結果、贈呈の様子などを新聞、広報誌19誌、テレビ6社で取り上げていただいた。

9. リーダーズフォーラムの報告。箱田敦只（財団本部）

8月31日-9月1日に探鳥会リーダーズフォーラムを開催した。このイベントは、支部やブロックの枠を超えて探鳥会リーダーの横の連携を作ろうという趣旨で始まり、今年はコロナ以後初めてのリアルでの開催を予定していたが、台風の接近で急遽オンラインに切り替えて実施した。二日間で、「探鳥会リーダー育成」「ゴミ拾い探鳥会」「初心者探鳥会」「会員サービス」「障害者差別解消法の改正」をテーマに議論を行った。議論の内容は、9月発行の「探鳥会スタッフ通信」に掲載予定。（探鳥会スタッフ通信は、tancho@staff.org まで、件名に「探鳥会スタッフ通信希望」と明記の上、①お名前 ②支部名 ③担当の探鳥会名を添えてメールで申し込み）

●記念撮影

【2024年9月15日】

●探鳥会：午前6:00-7:15（44名参加、内3名は案内人）
確認種：キジバト、モズ、ハシブトガラス、コガラ、シジュウカラ、ヒヨドリ、ウグイス、ゴジュウカラ、コムドリ、ジョウビタキ、ビンズイ、キセキレイ、ホオジロ（計13種）

●提案・協議事項

1. 風力発電施設建設計画に対して、事業者や県知事に対して意見書提出に努め、その情報を共有しあいましょう。小嶋明男（福井県）

2. 沼津市南部西浦地区に計画されている風力発電について意見を伺いたい。鈴木正之（沼津支部）

3. 静岡県遠州地方の風力発電開発経過状況。増田裕（遠江）

*2と3を合わせて討議。

【諏訪支部・杉山さん】発表のなかで、意見書を共有しましょうとあったが、財団本部のホームページに意見書の例が紹介されている。中部ブロックのエリアは風力発電事業に関わる構成団体が多いため、意見交換をしながら進めていきたい。

【財団・狩野さん】本来であれば担当である自然保護室のメンバーがお答えしなければならないところだが、あいにく現在開催中の鳥学会大会で風力発電に関する自由集会をおこなっている。財団にはその専門の者がいるので、遠慮なく相談をしていただきたい。

4. 探鳥会で他会員（参加の女性）につきまとい等の行為を行う迷惑会員への対処法などについて。※他支部でも同様な事例があれば、対処法について意見を伺いたい。白川郁栄（石川）

【富山】富山でも同様の事例がある。その人は熱心な役員でもあるため、注意しづらい。対処法は、わからないが、なんとかしないとイケない問題である。

【諏訪支部・杉山さん】そういうことがあるという事実を支部報で周知したり、役員は事前にそのような行為があることを知っておく必要がある。

【新潟県】このような迷惑行為には2ケースあり、飲み会に来て誘う場合と、珍鳥情報で誘う場合とがある。ガールズ探鳥会をおこなったとき、過去にリーダーからつきまとわれて嫌だったということがわかった例もある。探鳥会で迷惑行為をおこなう人を見張ったり、ガードをしたりしている。女性の参加者が増えると、迷惑行為は減るようだ。

【財団・箱田さん】つきまといの発見、予防策をどうするかと、いくつか議論のポイントがあるが、最終段階としては探鳥会への参加をお断りするという対策がある。しかし、逆に名誉毀損になるかもしれないという心配があり、関東のある支部から同様の相談を受けたことがある。財団の弁護士に相談をしたところ、その時は、ホームページや支部報に「他の参加者等に迷惑になる行為をしないでください。」など、違和感がない形で一文を載せておくといふというア

ドバイスをいただいた。いざというときはそれを根拠に参加を断れるようにした。

*記録者注

<https://wbsjt.jimdoweb.com/%E6%8E%A2%E9%B3%A5%E4%BC%9A-1/>

ページ下部の「探鳥会の注意事項」参照

5. 沼津支部では古参の役員が高齢で退会や業務不能となり若手の会員が補っています。支部長が体調を崩し実務を行うことが困難な状況です。探鳥会は若手の方を中心に10~20名参加しています。鈴木正之(沼津支部)

6. 石川支部では、幹事の高齢化+なり手不足により、会の運営が困難になってきている。※「幹事を増やす・会員を増やす」について他支部の現状と取り組みを伺いたい。白川郁栄(石川)

*5と6を合わせて討議。

【東富士】当支部は会員50名ほどで、会員を増やしたいが負担になる仕事はやめるようにしており、支部報は年に1・2回の発行。探鳥会を充実させる方向で活動をおこなっており、20数年前から若手の発掘に力を入れている。小学生用の探鳥会をするのではなく、通常の探鳥会に小学生を呼ぶようにしている。会員に小学校教員がいると声をかけやすい。

【軽井沢支部】リーダーを増やすために、一本釣りをしている(していた)。現在、探鳥会は1人のリーダーで運営しているが、複数担当者制を提案している。新リーダーの負担を減らすためどうすればよいか、例会で毎回議案に上げ探っている。

【愛知県支部】役員の引き継ぎは、100%引き継ぎがなくても良いのではないかと。会員が減ったら、仕事の整理をするチャンスと捉える。沼津支部の方法は、成功例だと思う。

7. 「中部はひとつ」の再確認。新實 豊(愛知県支部) パワーポイントを用いて説明がされた。「中部はひとつ」ということはコロナ前に確認されたが、その後ブロック会議が開かれなかったため、ここで再確認をさせていただく。

8. ジョウビタキの報告。林正敏(諏訪支部) 【新潟県】ジョウビタキの生息状況について、中部ブロック会議のメーリングリストで呼びかけ、各県の状況をまとめるのはどうか。

【軽井沢支部】ジョウビタキは軽井沢ではかなり確認されており、支部報でも紹介されている。

●提案

【三重・笹間さん】サシバの繁殖状況を中部ブロック会議の構成団体内で共有したい。5年をめぐりに継続調査の実施を提案。メーリングリストでフォーマットを送るため、確認してほしい。

次回開催幹事挨拶(富山)

閉会挨拶 諏訪支部支部長 杉山 直

以上。

(日本野鳥の会諏訪支部)

◆事務局からのお知らせなど

■自然保護室より

■キャンペーン「バードウォッチングウィーク！季節の鳥をeBirdに投稿しよう」

財団事務局では、今年も、11月1~7日のバードウォッチングウィークにあわせて、バードウォッチングの記録をeBirdに投稿していただくキャンペーンを実施します。今回のテーマは「季節の鳥」、観察対象種は「ジョウビタキ」「モズ」「マガモ」です。この3種をすべて見た方、7日間毎日投稿した方には、素敵なプレゼントがあります(該当者多数の場合は抽選)。連携団体の皆さまも、ぜひ、この機会にeBirdに野鳥観察記録をお寄せください。

【キャンペーン「バードウォッチングウィーク！季節の鳥をeBirdに投稿しよう」の概要】

●期間：2024年11月1日(金)~7日(木)(バードウォッチングウィーク)

●参加方法：期間中いつでも好きな時間にバードウォッチングをして、見た鳥をアプリ「eBirdモバイル」またはeBirdウェブサイト

「<https://ebird.org/home>」から投稿してください。

※初めて使う方は「eBird/Merlin 設定と基本操作ガイド」をご覧ください。eBird/Merlin 設定と基本操作ガイド：

https://www.wbsj.org/nature/ebird/eBird_setting_guide.pdf

●参加賞：期間中にチェックリストを投稿された方のうち、

①サントリー特別賞：観察対象種(ジョウビタキ、モズ、マガモ)

をすべて見た方10名さま(該当者多数の場合は抽選)に、サントリーホールディングス株式会社提供のステンレス製真空タンブラー『フクロウ』(藪内正幸イラスト)をさしあげます。



協力：藪内正幸美術館

②日本野鳥の会賞：7日間毎日チェックリストを投稿した方10名さま(該当者多数の場合は抽選)に、日本野鳥の会オリジナルグッズ「卓上カレンダー2025」と「今治タオルハンカチ・ルリビタキ」のセットをさしあげます。



【ジャパン・バードフェスティバルで、eBird の使い方を紹介します！】

11月2日（土）～3日（日・祝）に我孫子市で開催されるジャパン・バードフェスティバルにブース出展し、eBird の使い方をご紹介します。

「eBird を使ってみたいけれど、設定方法や使い方がわからない」という方は、ぜひブースにお越しください。スタッフが設定をお手伝いします。

会場でバードウォッチングし、見た鳥を eBird に投稿した方には、記念品をプレゼントします。



●ジャパン・バードフェスティバルの詳細はこちら
<https://www.birdfesta.net/>

●キャンペーンの詳細は、ホームページをご覧ください。
<https://www.wbsj.org/activity/event/campaign-ebird-20241101/>

（自然保護室／岡本裕子）

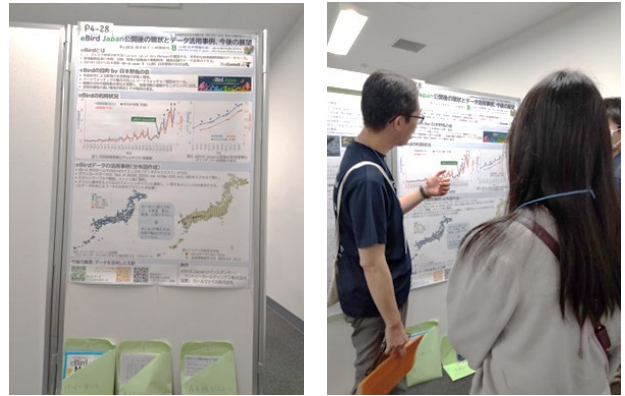
■日本鳥学会で eBird Japan についてのポスター発表を行いました。

2024年9月13～16日まで、東京大学農学部で行われた日本鳥学会2024年度大会で、「eBird Japan 公開後の現状とデータ活用事例、今後の展望」というタイトルでポスター発表を行いました。2021年11月に日本語版の eBird Japan を公開してから約3年経過し、国内の利用者（eBirder）数は約3,000人から8,000人近くまで、チェックリスト（投稿された記録）数は80,000件以下から200,000件以上へと急増し、現在も順調に増えています。今回の発表では、eBird の国内利用者の現状を報告するとともに、eBird のデータの活用事例として、ダウンロードデータの紹介、公開後3越冬期分の eBird データで作成した越冬分布図、鳥類学に携わる方が eBird を活用する際の参考資料等を紹介しました。

学会には全国から参加者が訪れます。今回、eBird のデータを集計した結果、北海道、東北、新潟、山陰などではチェックリストが少ない地域ということがわかりましたので、これらの地域から参加された方には、特に eBird をお勧めいたしました。他には、「周辺の鳥類の生息情報を eBird から得て、研究や活動に活かしたい」という研究者や、「eBird のような市民科学

のデータを使った研究方法もあるのか」という研究テーマを検討中の大学生など、たくさんの方に発表を聞いていただきました。また、「eBird を知っているが使ったことがない」、「登録しているが使ってはいない」という方には、使い方をお伝えしたりしました。

（※学会で配布した、eBird のデータのダウンロード方法の資料を希望される方には、PDF でお送りしますので ebirdjapan@wbsj.org までお問い合わせください。）



ポスター（左）と発表の様子（右）。

eBird/Merlin 設定と基本操作ガイド：
https://www.wbsj.org/nature/ebird/eBird_setting_guide.pdf

eBird データのリクエスト：
<https://ebird.org/data/download>

（自然保護室／奴賀俊光）

■普及室より

■連携団体（支部等）向け卸販売をご利用ください

通販カタログ「バードショップ」2024 秋冬号が発行となりました。

会員の皆さまには、会誌「野鳥」9・10月号に同封してお届けしております。

販売事業ご担当の皆さまには、連携団体（支部等）向け卸販売のご案内と合わせてお届けしております。

販売を通じて、バードウォッチングや自然保護の輪が広まるとともに、販売収益が支部活動の一助となれば幸いです。ぜひご利用ください。



●秋冬号のオススメ商品

今年も12か月間美しい野鳥を楽しめるカレンダー「ワイルドバード・カレンダー」、「パース・イン・シーズンズ 卓上カレンダー」、「しあわせことりカレ

ンダー」の3種ができました。自然や野鳥の魅力にあふれる写真を厳選しました。

- 支部卸販売のご注文、お問い合わせ
普及室 販売出版グループまでお願いいたします。
TEL:03-5436-2623
FAX:03-5436-2635

Email: r-hanbai@wbsj.org

スマホでカタログが見られる、web カタログも公開中！
(リンク先)

https://www.birdshop.jp/DGcatalog24aw/book/#target/page_no=1

(読み取り用 QR コード)



(普及室/森谷 机珠瑠)

■総務室より

■会員数

10月1日時点の会員数は33,301人で、先月と比べ8人減少しました。

9月の入会・退会者数(表1)をみますと、入会者数は退会者数より1人少なくなっています。

9月1日付の入会者数は131人で、前年同月の入会者数128人と比べ3人増加しました。

また、9月末日付の退会者数は132人で、前年同月の退会者数107人と比べ25人増加しました。

なお、会員の増減は入会者数と退会者数のほかに、会費切れ退会となった後に会費が支払われ会員として復活した人数によって決まります。

表1. 9月の入会・退会者数

| | 入会者数 | 退会者数 |
|--------------|---------|-------|
| 個人特別会員 | 8 人 | 5 人 |
| 総合会員(おおぞら会員) | 37 人 | 29 人 |
| 本部型会員(青い鳥会員) | 7 人 | 22 人 |
| 支部型会員(赤い鳥会員) | 61 人 | 55 人 |
| 家族会員 | 18 人 | 21 人 |
| 合計 | 131 人 | 132 人 |
| 年度累計 | 1,112 人 | ※ |

※会費切れ退会となった後に会費が支払われ会員とし

て復活する方がいらっしゃるため、退会者数の年度累計は、実際の退会者数とずれた数字となります。

※上記集計は速報値となります。

●都道府県および支部別会員数

野鳥誌贈呈者数を除いた数を掲載します。

表2. 都道府県別の会員数(10月1日時点)

| 都道府県 | 会員数 | 対前月差 |
|------|---------|-------|
| 北海道 | 1,565 人 | -3 人 |
| 青森県 | 207 人 | 3 人 |
| 岩手県 | 332 人 | -2 人 |
| 宮城県 | 511 人 | 5 人 |
| 秋田県 | 233 人 | 0 人 |
| 山形県 | 211 人 | -2 人 |
| 福島県 | 499 人 | 1 人 |
| 茨城県 | 844 人 | 1 人 |
| 栃木県 | 806 人 | -4 人 |
| 群馬県 | 580 人 | 3 人 |
| 埼玉県 | 1,957 人 | -4 人 |
| 千葉県 | 1,471 人 | -3 人 |
| 東京都 | 4,659 人 | 5 人 |
| 神奈川県 | 3,092 人 | -18 人 |
| 新潟県 | 340 人 | 0 人 |
| 富山県 | 180 人 | -2 人 |
| 石川県 | 266 人 | 2 人 |
| 福井県 | 224 人 | 0 人 |
| 山梨県 | 243 人 | 1 人 |
| 長野県 | 822 人 | -1 人 |
| 岐阜県 | 463 人 | 0 人 |
| 静岡県 | 1,206 人 | 1 人 |
| 愛知県 | 1,587 人 | 0 人 |
| 三重県 | 442 人 | -1 人 |
| 滋賀県 | 326 人 | 0 人 |
| 京都府 | 818 人 | 14 人 |
| 大阪府 | 1,895 人 | 2 人 |
| 兵庫県 | 1,223 人 | -1 人 |
| 奈良県 | 466 人 | 0 人 |
| 和歌山県 | 203 人 | 0 人 |
| 鳥取県 | 225 人 | 1 人 |
| 島根県 | 194 人 | 0 人 |
| 岡山県 | 535 人 | -2 人 |
| 広島県 | 573 人 | 0 人 |
| 山口県 | 311 人 | -2 人 |
| 徳島県 | 321 人 | -1 人 |
| 香川県 | 214 人 | -1 人 |
| 愛媛県 | 335 人 | 0 人 |
| 高知県 | 97 人 | 0 人 |
| 福岡県 | 1,157 人 | -1 人 |
| 佐賀県 | 216 人 | 0 人 |
| 長崎県 | 201 人 | -1 人 |
| 熊本県 | 353 人 | 1 人 |
| 大分県 | 220 人 | 0 人 |
| 宮崎県 | 246 人 | 0 人 |

| | | |
|------|----------|------|
| 鹿児島県 | 306 人 | 2 人 |
| 沖縄県 | 79 人 | -1 人 |
| 海外 | 14 人 | 0 人 |
| 不明 | 33 人 | 0 人 |
| 全国 | 33,301 人 | -8 人 |

備考：不明は転居先が不明の会員を示します。

表3. 支部別の会員数（10月1日時点）

| 支部 | 会員数 | 対前月差 |
|---------|---------|-------|
| 才ホーツク支部 | 238 人 | 0 人 |
| 根室支部 | 72 人 | 0 人 |
| 釧路支部 | 130 人 | -2 人 |
| 十勝支部 | 197 人 | 0 人 |
| 旭川支部 | 90 人 | 1 人 |
| 滝川支部 | 38 人 | 0 人 |
| 道北支部 | 24 人 | 0 人 |
| 札幌支部 | 295 人 | 0 人 |
| 小樽支部 | 48 人 | -3 人 |
| 苫小牧支部 | 167 人 | 1 人 |
| 室蘭支部 | 113 人 | 0 人 |
| 道南檜山 | 74 人 | 2 人 |
| 青森県支部 | 112 人 | -1 人 |
| 弘前支部 | 111 人 | 1 人 |
| 秋田県支部 | 224 人 | -1 人 |
| 山形県支部 | 206 人 | -2 人 |
| 宮古支部 | 70 人 | -2 人 |
| もりおか | 149 人 | 1 人 |
| 北上支部 | 87 人 | -2 人 |
| 宮城県支部 | 475 人 | 4 人 |
| ふくしま | 121 人 | 0 人 |
| 郡山支部 | 141 人 | 0 人 |
| 白河支部 | 17 人 | 0 人 |
| 会津支部 | 53 人 | 0 人 |
| 奥会津連合 | 7 人 | 0 人 |
| いわき支部 | 92 人 | 1 人 |
| 福島県相双支部 | 13 人 | 0 人 |
| 南相馬 | 17 人 | 0 人 |
| 茨城県 | 757 人 | 2 人 |
| 栃木県支部 | 809 人 | -4 人 |
| 群馬 | 520 人 | 2 人 |
| 吾妻 | 42 人 | 1 人 |
| 埼玉 | 1,453 人 | -3 人 |
| 千葉県 | 901 人 | -2 人 |
| 東京 | 2,652 人 | -1 人 |
| 奥多摩支部 | 762 人 | 1 人 |
| 神奈川支部 | 1,971 人 | -12 人 |
| 新潟県 | 260 人 | 0 人 |
| 佐渡支部 | 38 人 | 0 人 |
| 富山 | 162 人 | -2 人 |
| 石川 | 244 人 | 2 人 |
| 福井県 | 216 人 | 0 人 |
| 長野支部 | 380 人 | -2 人 |
| 軽井沢支部 | 164 人 | 3 人 |
| 諏訪支部 | 238 人 | -1 人 |

| | | |
|---------|----------|-------|
| 木曾支部 | 20 人 | 0 人 |
| 伊那谷支部 | 75 人 | -1 人 |
| 甲府支部 | 179 人 | 1 人 |
| 富士山麓支部 | 51 人 | 0 人 |
| 東富士 | 58 人 | 0 人 |
| 沼津支部 | 131 人 | -1 人 |
| 南富士支部 | 216 人 | -1 人 |
| 南伊豆 | 36 人 | -3 人 |
| 静岡支部 | 309 人 | 1 人 |
| 遠江 | 353 人 | 1 人 |
| 愛知県支部 | 1,230 人 | 1 人 |
| 岐阜 | 440 人 | 0 人 |
| 三重 | 385 人 | -2 人 |
| 奈良支部 | 395 人 | 0 人 |
| 和歌山県支部 | 208 人 | 0 人 |
| 滋賀 | 322 人 | 0 人 |
| 京都支部 | 766 人 | 9 人 |
| 大阪支部 | 1,749 人 | 7 人 |
| ひょうご | 931 人 | -4 人 |
| 鳥取県支部 | 239 人 | 2 人 |
| 島根県支部 | 189 人 | -1 人 |
| 岡山県支部 | 514 人 | -3 人 |
| 広島県支部 | 499 人 | -1 人 |
| 山口県支部 | 289 人 | -1 人 |
| 香川県支部 | 176 人 | -1 人 |
| 徳島県支部 | 342 人 | -1 人 |
| 高知支部 | 91 人 | 0 人 |
| 愛媛 | 313 人 | 0 人 |
| 北九州支部 | 231 人 | -1 人 |
| 福岡支部 | 525 人 | 1 人 |
| 筑豊支部 | 210 人 | 0 人 |
| 筑後支部 | 134 人 | -1 人 |
| 佐賀県支部 | 280 人 | 0 人 |
| 長崎県支部 | 185 人 | -1 人 |
| 熊本県支部 | 344 人 | 2 人 |
| 大分県支部 | 208 人 | 2 人 |
| 宮崎県支部 | 239 人 | 0 人 |
| かごしま県支部 | 286 人 | 1 人 |
| やんばる支部 | 41 人 | 0 人 |
| 西表支部 | 52 人 | 0 人 |
| | 28,191 人 | -13 人 |

備考：支部別の会員数の合計は、都道府県別の会員数の合計と異なります。
これは、本部型（青い鳥）会員や支部に所属されていない個人特別会員が支部別の会員数に含まれないためです。

（総務室／三浦 岳志）

◆支部ネット担当より

いつも支部ネット通信をご愛読いただきありがとうございます。
ございます。

支部ネット通信では、支部やブロックから全国の支部・
ブロックへ発信したい情報をご投稿いただいて掲載する
ことができます。投稿にあたって特に字数の制限などは設
けていません。できるだけ弾力的に対応させていただきます
。原稿は毎月 5 日頃が締め切りで、25 日頃に発行とな
ります。ご投稿は下記アドレスまでお送りください。

本号を編集中の 10 月初旬、事務所近くの緑地帯ではヒ
ガンバナとツクツクボウシを同時に楽しむことができま
す。この先、どのような季節の進行具合となるのでしょ
うか？気になるところです。

次号もどうぞよろしくお願いたします。

日本野鳥の会

支部ネット通信

2024 年 10 月号・通巻 273 号

◆発行

公益財団法人日本野鳥の会 2024 年 10 月 25 日

◆担当

総務室 総務管理グループ

五十嵐真/林山雅子/松井華奈/原元奈津子/萩原洋平

〒141-0031

東京都品川区西五反田 3-9-23 丸和ビル

TEL : 03-5436-2620

FAX : 03-5436-2635

E-mail : sibu-net@wbsj.org
